

ジュエリーやオーダーメイドに関する広報通信 Vol.18 を 7月24日（火）発行

ベーシスト KenKen さんと ジュエリー職人 対談 ベースの弦を再利用した扇子やバングルで“ライブを身につける”

全国にジュエリー店舗を展開するオーダーメイド企業の株式会社ケイウノ（本社：愛知県名古屋市、代表取締役：久野雅彦、以下「ケイウノ」）は、ジュエリーやオーダーメイドに関する、さまざまなヒト・モノ・コトの最新情報を紹介するニュースター「ケイウノオーダーメイド広報通信 Vol.18」を7月24日（火）に発行します。

今回は、音楽とジュエリーのコラボレーションについて、「RIZE」「Dragon Ash」などで活躍しているベーシスト KenKen さんと、ケイウノのジュエリー職人 久保田淳の対談を紹介します。

<ケイウノオーダーメイド広報通信 Vol.18 について>

- 発行社：株式会社ケイウノ
- 発行日：第18号／2018年7月24日（火）
- 配布対象：報道機関、業界関係者、従業員、取引先など
- 内容：
 - ・ アーティストとファンを結ぶブランド「rizm」
 - ・ 自分が観たライブの弦がバングルに
 - ・ 音楽ファンとジュエリーファンが出会える新たなフィールド
 - ・ 7月の誕生石「ルビー」をあしらった腕時計の紹介

<ケイウノオーダーメイド広報通信について>

「ジュエリー」は、一般的には“高級”や“特別”なイメージが強く、その価値や違い、製作過程など実態についてはよく知られていません。ケイウノでは、ジュエリーやオーダーメイドを通じて「ものづくり日本」といわれる技術力をはじめ、人にとってどのような価値（社会的&歴史なども含めて）を提供できるか、時事や季節要因と連動した旬な情報として、事例を交えながら情報発信します。そして広く一般に認知される環境作りを目指したいと考えています。

■ 株式会社ケイウノ <https://www.k-uno.co.jp/>

「お客さまに特別な感動と喜びを贈り続ける」というコンセプトのもと、デザイン・製作・販売の一貫体制をとり、宝飾品のオーダーメイド専門店として国内で唯一全国展開するブランドです。

更なるお客さまの満足を目指し、ジュエリーだけでなく時計・革製品・衣類など、取扱商品の幅を広げています。オーダーメイドで多くのモノが手に入る「オーダーメイド百貨店」を目指し、「オーダーメイドの新しい文化を作る」ことを目標としています。

会社名	: 株式会社ケイウノ
本社所在地	: 愛知県名古屋市千種区猫洞通 3-9 TEL : 052-763-6159 FAX : 052-763-6169
オフィス	: 東京都目黒区自由が丘 2-15-22 TEL : 03-5731-7847 FAX : 03-5731-7852
代表取締役	: 久野 雅彦
資本金	: 1億1240万円
設立日	: 1991年3月29日（創業1981年）
従業員	: 554名（2018年4月現在）
ショップ	: 北海道1・東北1・関東12・東海9・北陸2・関西5・中国2・九州1・沖縄2、 オンラインショップ（2018年4月現在）
事業内容	: オーダーメイドジュエリーの製造販売・リフォーム・修理、時計・革小物・スーツ・シャツ・靴などの オーダーメイドを展開

<本件に関する報道機関からのお問い合わせ先>

株式会社ケイウノ自由が丘オフィス 広報 / TEL.03-5731-7847 FAX.03-5731-7852

担当: 川村 press@k-uno.co.jp、050-3771-5870



K.UNO NEWS LETTER

Vol. 18

ケイウノは全国に店舗展開するジュエリーのオーダーメイドブランドです。
この広報通信では、毎月1回、ケイ・ウノのジュエリーやオーダーメイドに関する
さまざまなヒト・コト・モノの情報をお届けします。



「ライブを身につける」という
新しい楽しみ方を広めていきたいと思っています。

「あなたの想いを宝物に」をキャッチ
に、大人の遊び心をカタチにする本格
的キャラクタージュエリー、アクセサ
リーブランドとして海外からも注目
が集まる「U-TREASURE
(ユートレジャー)」。

昨年夏に続いて、日本のベース
ヒーローKenKenさんとの
コラボレーションが実現しました。
今回の作品は、ベースのネックを
モチーフにしたバングル。使われて
いるのはKenKenさんが実際に

ライブで使用したオリジナルの弦です。
これまでどこにもなかった音楽と
ジュエリーのコラボレーションについて
KenKenさんと製作を担当した
ケイ・ウノの職人久保田に伺いました。

久保田 淳

茨城県出身。2005年ケイ・ウノ入社。
アドバイザー、生産管理を経てCAD係
OD(オーダー)班リーダー。造形の美しさ
にこだわり、ジュエリーの原型となる3D
モデルを製作する職人。

KenKen

1985年東京・下北沢生まれのベーシスト&ゲー
マー。小学校低学年の時にベースに出会い、中学
生の頃から数々の演奏を重ね、数多くのバンドや
プロジェクトに参加し、天才的なテクニックと周囲
を圧倒する激しいパフォーマンスで人々を魅了。
近年では、ラジオパーソナリティ、映画出演や
ゲーム・CM音楽などLIVE以外でも活躍。

アーティストとファンを結ぶ ブランド「rizm」



シルバー950を使用したバングル。両サイドにはKenKenさんのロゴが刻印

— 今回のバングルは昨年夏の扇子に続いての商品となります。どちらもKenKenさんがステージで使ったベースの弦を使用しています。

KenKen…ベースの弦って、切れるまで何年も張り続けている人もいますが、僕はリハーサルやライブ毎に交換します。だから、あつという間に使用済みの弦が段ボールいっぱいになっちゃうんです。

例えば、昨年はRIZMやDragon Ashのアンバー

サリーイヤーだったこともあって170本以上のライブがあったので約400セットの弦を使いました。

僕は「GenGen(ゲンゲン)」というオリジナルの弦を作ってしまっただけにこだわりがあつて使い終わったからといって、ただ捨ててしまふのはもったいなくてなんとかしたいなと思つていました。

「もつたない」以外にも思つていたのは、いつ、どの現場で使ったかによつて弦に残っているパワーが違うんじゃないかなと。それでライブで使った弦を何かの形にできないかなと以前から考えていました。

— それでブランドを立ち上げられた。

KenKen…そうです。ブランド名はR(ecycle)+ism(主義、想い) || rizm。アーティストが使用する楽器をリユースして、アーティストとファンを「結ぶ」新たな価値を創る、という意味をこめて命名しました。

その後、あるご縁からケイ・ウノさんに僕の弦を使って製作をお願いすることになって、昨年夏、扇子をつくってもらいました。



2弦と3弦で編み込まれた水引き

— 扇子をご覧になっていかがでしたか？

KenKen…僕、もともと着物とか和とかすごく好きなので、扇子という発想がうれしかったですね。弦を水引きのように編み込んでもらつて、飾り房になつてるのがすごくいい。あれをつくる時も長さとか編み方とかをどうするか、ずいぶんやり取りさせてもらいましたよ。

久保田…そうですね。水引の大きさや重さをいろいろ試行錯誤しました。何パターンか出させてもらつて検討していただきましたね。ファンの方はあの扇子を持つてライブにいらつしやるんでしょうか。



「和」が大好きというKenKenさん。扇子を持つしぐさがびたりと決まる

KenKen…います、います。扇面にサインを求めてくる方もいらつしやつたし、自分でつくったケースを見せてくれた人もいましたね。そうかと思うと、外には持つていかないで自宅に飾つてくれる人もいます。みんなその人らしい楽しみ方をしてくれてるんだと思います。

自分が観たライブの 弦がバングルに

— バングルについてうかがいます。ベースのネック部分がイメージされたデザインなんですね。

久保田..そうですね。弦を使うアイデアがいろいろあつて、編み込んで座れるくらいの椅子にしようとか。でもせつかくライブで使った弦なので、ベースをモチーフに身につけられるバングルに決まりました。僕は中学生からバンドをやっていることもあつて、ベースという楽器を、いかにバングルというジュエリーに落とし込むかこだわりました。その一つが弦全体に美しいアールをかけ、フレットにへこみを入れてキレイに収まるようにしたところ。楽器だと弦は浮いてるんですがバングルはそれができませんから。

Ken Ken..そうそう。最初の試作品を見せてもらつて、「楽器がわかつてる人がつくってくれてる」というのがすごくわかつたんです。



ジュエリーの製作現場は初めてのKenKenさんは興味津々



手の甲のタトゥーは平和と幸せを願うピースマーク

楽器ってバランスがすごく大事で、バランス感のかつこよさが絶対にある。そこがちゃんとバングルに落とし込まれて、これはすごいなと思いました。楽器が身につけられるというデザインもミュージシャンとしては一番うれしい形ですね。

久保田..ありがとうございます。そう言っていただけだと感無量です。もう一つお話させていただくと、「重み」「も大事にしました。実は社内ですら「重み」「も重いのでは？」という意見もあつたんです。重量は価格にも関係してくることもありますし。

でもベースの雰囲気を出そうと思うと、ある程度の幅も必要です。それにこのバングルはつけてライブに行つてほしいなと思ひました。存在感も出ますね。また、薄くしたりほそくしたりすると変形しやすいですから。

Ken Ken..そこまで考えてくれたんですね。ありがとうございます。うれしいです。

今つてもものづくりにかける時間と手間に対する評価が不透明になりつつある時代になつていいると思うんですね。なので、単純に値段の高い安いだけを見るんじゃなくて、バングルに込められたいろんな想いがファンの方に伝わるいいなと思いますね。

— 販売サイトを拝見すると、どのライブで使用された弦なのがわかるようになつています。

Ken Ken..そう。RIZE、Dragon Ash、LIFE IS GROOVEの3つのバンドの中からどの公演で使用した弦を使ったバングルかが選べるようになっていきます。ライブは本当に一期一会、その日その日の僕の演奏が弦に閉じ込められているというか……。

久保田..普通だとベースストってピックを持つて弾く方も多いんですけど、Ken Kenさんは指で弾くから、よけいに弦にパワーが入りますよね。

Ken Ken..そうそう。すごい力で握つたり音を出したりしているので、その時の演奏によつては弦に傷ついているものもあると思います。1本1本が全部違う。それもまたライブ感があるしオリジナル。

僕にとつてライブは二つひとつが特別なんですが、ファンの方にとつても同じかそれ以上に特別だと思ひます。どのライブの時の弦を使ったバングルかわかれば、自分が観に行つたからほしい

かもしれないし、チケットが取れず観に行けなかつたから持つていたいと思ひかもしれない。

ライブによつて選べるのが大事だし特別感があるかなと。いろんな自分だけの思い入れがまつたアクセサリーにもなると思ひます。

久保田..バングルの販売が始まつてから、SNSなどでお客様の反応を見ていたのですが、すごくよかつたという書き込みがあつたりして、関わつた人間としてはすごくうれしいですね。

Ken Ken..そうやって、実際にバングルをつけてくれる人からまた伝わっていくと思ひます。



実はKenKenさんの大ファンの久保田さん。この日は終始緊張気味

音楽ファンとジュエリーファンが 出会える新たなフィールド



U-TREASURE新宿店のKenKenさんのコーナー。7月29日まで期間限定で展示

— 今回のバングルは r i z m とし
ての第4弾になりますが、今後は
どんな展開を考えていらっしゃる
ますか。

KenKen.. r i z m を立ち上げた
時に考えたのは、「ライブを身につけ
る」という新しさ。それがあたりまえ
になつていったらうれしいです。

r i z m のコンセプトは、アーティ
ストが使用する楽器をリユースして、
アーティストとファンを「結ぶ」新たな
価値を創ることなので、今後は僕以外
にもいろんなミュージシャンの方が出
てくるとおもしろいなと思います。
それぞれのファンの方からこんな人

やつてほしいとか、意見が出てきたら
いいですね。

さらには、音楽とジュエリーのファ
ンつて全然別かもしれないけど、今回
のようにコラボレーションをすること
でそれぞれが新しいフィールドを見つ
けてもらえればいいと思います。

久保田..確かに、今回「ユートレ
ジャー」に扇子やバングルだけじゃな
く、KenKenさんがプロデュース
したベースもディスプレイさせても
らつていますが、ショップ自体が新鮮
な感じです。

KenKen..弦つて金属として再利用
しづらいところがあつて、これまでは
もつたないと思ひながら捨てちゃう



しかなかった。でも、今回のように形
を変えて生まれ変わるつてすごく
クリエイティブな発想。しかもただ
再利用するんじゃなくて、かつこよく
よみがえる。扇子もバングルもすごく
いいです。

久保田..ありがとうございます。
KenKenさんからいろいろおつ
しやつていただけると、そのハードルを
越えるためにがんばれます。

KenKen..いやいや、本当にいろんな
無理をきいていただいてありがとうございます。
これからまたいろいろ
ものをつくつていきたいですね。

7月の誕生石 「ルビー」

ケースカラーや文字盤が自由に組み合わせられるカスタムオーダー
「Custo Wa(カストヴァ)」シリーズ。日本製の機械式ムーブメントを
搭載しています。リュウズの先端にあしらわれているルビーがアクセント
となって、一層スタイリッシュな印象を与えています。

